



Better Health, Brighter Future

## News Release

2025 年 1 月 30 日

会社名 武田薬品工業株式会社  
代表者 代表取締役社長 CEO クリストフ・ウェバー  
(コード番号 4502 プライム市場)  
報道関係問合せ先 グローバル コーポレート アフェアーズ  
完戸 綾  
E-mail: aya.shishido@takeda.com

### ジュリー・キムが 2026 年 6 月にクリストフ・ウェバーの後任として就任

- 当社代表取締役社長 CEO のクリストフ・ウェバーが 12 年間の勤務を経て、2026 年 6 月に当社から退任
- 数年にわたる後継者計画プロセスを経て、U.S. ビジネスユニットプレジデントのジュリー・キムをウェバー氏の後任として指名

武田薬品工業株式会社(TSE:4502/NYSE:TAK)は、本日、取締役会が全会一致で、現在当社の U.S. ビジネスユニットプレジデントであるジュリー・キムを、2026 年 6 月に当社を退任予定の代表取締役社長 CEO クリストフ・ウェバーの後任に指名することを決議しましたのでお知らせします。この交代の前提として、2026 年 6 月の定時株主総会において、キム氏を当社の新任取締役候補者として提案予定です。なお、ウェバー氏は同総会の終了時をもって当社取締役を退任することになります。

当社の取締役会議長および指名委員会委員長である飯島彰己氏は、「クリストフ・ウェバーの卓越したリーダーシップによるこれまでの成功を基に、タケダを新たな成長段階へと導くリーダーとして、取締役会は全会一致でジュリー・キムを選出しました。この 12 年間でクリストフは、タケダを競争力のあるグローバルな研究開発型バイオ医薬品企業へと変貌させ、長期的に持続可能な事業モデルを確立しました。当社事業の発展に対する彼のこれまでの多大なる貢献と、彼が今後 18 カ月間にわたり引き続き当社においてリーダーシップを発揮し、ジュリーに対し必要な助言と支援をしてくれることに対し感謝します。ジュリーは、U.S. ビジネスユニットやプラズマ デライブド セラピーズ ビジネスユニットを率い、タケダに多くの貢献を残してきた素晴らしいリーダーです。彼女は経験豊富でタケダの価値観に基づいた経営判断を行い、私たちの企業文化を堅持し、世界中の患者さんに貢献してくれるでしょう」と述べています。

また、選考プロセスについて、飯島氏は次のように述べています。「数年にわたる後継者計画のプロセスを経て、取締役会は内部および外部の候補者の中でジュリー・キムが最適であると判断しました。指名委員会および取締役会による選考プロセスは慎重かつ適正に進められました」

クリストフ・ウェバーは、「この数年間、取締役会と協力しながら円滑な後継者計画を進めて参りました。当社の今後の高い成長見通し、2026年の後半以降に見込まれる新製品の上市、および今後数年間で予想される社外取締役の交代を考慮すると、今が後継者を指名する適切な時期です。取締役会がジュリーを選んだことは素晴らしいことです。ジュリーがタケダに入社してからの6年間、私は彼女と共に仕事をし、彼女の価値観、知性、胆力、そして私たちの仲間と患者さんに対する献身的な姿を目の当たりにしてきました」と述べています。

ジュリー・キムは、「タケダは優れた企業であり、そのリーダーに選ばれたことを大変光栄に思います。クリストフの素晴らしいリーダーシップの下、タケダは有望な後期開発パイプラインを持つグローバルなバイオ医薬品企業となりました。私は、240年以上の歴史に根ざした揺るぎない価値観に基づく文化を守りながら、優れた才能ある仲間と共に、タケダを次のフェーズへ導くことに胸を膨らませています。取締役会が私に寄せてくれた信頼に感謝しています。取締役会、タケダ・エグゼクティブチーム、そしてすべての仲間と協力し、患者さん、株主の皆さま、社会に対して長期的な価値を生み出し、貢献することを楽しみにしています」と述べています。

#### <クリストフ・ウェバーについて>

2014年4月にチーフ オペレーティング オフィサーとして、クリストフ・ウェバーはタケダに入社しました。同年6月に代表取締役社長に就任、その後2015年4月にCEOに就任しました。ウェバー氏のリーダーシップの下、タケダはグローバル化と研究開発体制の変革を進め、多様でインクルーシブな職場づくりに取り組み、倫理的価値観とコーポレート・ガバナンスを強化しながら競争力を高めることに注力しています。

#### <ジュリー・キムについて>

ジュリー・キムは、2022年から当社のU.S. ビジネスユニットのプレジデントおよびU.S. カントリーヘッドであり、2019年からタケダ・エグゼクティブチームのメンバーです。30年におよぶヘルスケア領域での経験を通じ、グローバルや地域、国、部門など様々なレベルでリーダーシップのポジションを歴任し、複数の疾患領域、国際市場アクセス、国や地域のジェネラルマネジメント、マーケティングや新興市場開発などの多岐にわたる職務経験を有しています。

#### <武田薬品について>

武田薬品工業株式会社(TSE:4502/NYSE:TAK)は、世界中の人々の健康と、輝かしい未来に貢献することを目指しています。消化器系・炎症性疾患、希少疾患、血漿分画製剤、オンコロジー(がん)、ニューロサイエンス(神経精神疾患)、ワクチンといった主要な疾患領域および事業分野において、革新的な医薬品の創出に向けて取り組んでいます。パートナーとともに、強固かつ多様なパイプラインを構築することで新たな治療選択肢をお届けし、患者さんの生活の質の向上に貢献できるよう活動しています。武田薬品は、日本に本社を置き、自らの企業理念に基づき患者さんを中心に考えるというバリュー(価値観)を根幹とする、研究開発型のバイオ医薬品のリーディングカンパニーです。2世紀以上にわたり形作られてきた価値観に基づき、社会における存在意義(パーパス)を果たすため、約80の国と地域で活動しています。詳細については、<https://www.takeda.com/jp/>をご覧ください。

### <重要な注意事項>

本注意事項において、「ニュースリリース」とは、本ニュースリリースに関して武田薬品工業株式会社(以下、「武田薬品」)によって説明又は配布された本書類並びに一切の口頭のプレゼンテーション、質疑応答及び書面又は口頭の資料を意味します。本ニュースリリース(それに関する口頭の説明及び質疑応答を含みます)は、いかなる法域においても、いかなる有価証券の購入、取得、申込み、交換、売却その他の処分の提案、案内若しくは勧誘又はいかなる投票若しくは承認の勧誘のいずれの一部を構成、表明又は形成するものではなく、またこれを行うことを意図しておりません。本ニュースリリースにより株式又は有価証券の募集を公に行うものではありません。米国 1933 年証券法の登録又は登録免除の要件に基づいて行うものを除き、米国において有価証券の募集は行われません。本ニュースリリースは、(投資、取得、処分その他の取引の検討のためではなく)情報提供のみを目的として受領者により使用されるという条件の下で(受領者に対して提供される追加情報と共に)提供されております。当該制限を遵守しなかった場合には、適用のある証券法違反となる可能性があります。

武田薬品が直接的に、又は間接的に投資している会社は別々の会社になります。本ニュースリリースにおいて、「武田薬品」という用語は、武田薬品及びその子会社全般を参照するものとして便宜上使われていることがあります。同様に、「当社(we, us 及び our)」という用語は、子会社全般又はそこで勤務する者を参照していることもあり得ます。これらの用語は、特定の会社を明らかにすることが有益な目的を与えない場合に用いられることもあり得ます。

### <将来に関する見通し情報>

本ニュースリリース及び本ニュースリリースに関して配布された資料には、武田薬品の見積もり、予測、目標及び計画を含む武田薬品の将来の事業、将来のポジション及び業績に関する将来見通し情報、理念又は見解が含まれています。将来見通し情報は、「目標にする(targets)」、「計画する(plans)」、「信じる(believes)」、「望む(hopes)」、「継続する(continues)」、「期待する(expects)」、「めざす(aims)」、「意図する(intends)」、「確実にする(ensures)」、「だろう(will)」、「かもしれない(may)」、「すべきであろう(should)」、「であろう(would)」、「かもしれない(could)」、「予想される(anticipates)」、「見込む(estimates)」、「予想する(projects)」などの用語若しくは同様の表現又はそれらの否定表現を含むことが多いですが、それに限られるものではありません。これら将来見通し情報は、多くの重要な要因に関する前提に基づいており、実際の結果は、将来見通し情報において明示又は暗示された将来の結果とは大きく異なる可能性があります。その重要な要因には、日本及び米国の一般的な経済条件を含む武田薬品のグローバルな事業を取り巻く経済状況、競合製品の出現と開発、世界的な医療制度改革を含む関連法規の変更、臨床的成功及び規制当局による判断とその時期の不確実性を含む新製品開発に内在する困難、新製品及び既存製品の商業的成功の不確実性、製造における困難又は遅延、金利及び為替の変動、市場で販売された製品又は候補製品の安全性又は有効性に関するクレーム又は懸念、新規新型コロナウイルス・パンデミックのような健康危機が、武田薬品が事業を行う国の政府を含む武田薬品とその顧客及び供給業者又は武田薬品の事業の他の側面に及ぼす影響、買収対象企業との PMI(買収後の統合活動)の時期及び影響、武田薬品の事業にとっての非中核資産を売却する能力及びかかる資産売却のタイミング、当社による省エネルギーへの取り組み及び将来の再生可能エネルギー又は低炭素エネルギー技術の発展による当社の温室効果ガス排出量の削減の程度、武田薬品のウェブサイト(<https://www.takeda.com/jp/investors/sec-filings/>)又は [www.sec.gov](http://www.sec.gov) において閲覧可能な米国証券取引委員会に提出した Form 20-F による最新の年次報告書並びに武田薬品の他の報告書において特定されたその他の要因が含まれます。武田薬品は、法律や証券取引所の規則により要請される場合を除き、本ニュースリリースに含まれる、又は武田薬品が提示するいかなる将来見通し情報を更新する義務を負うものではありません。過去の実績は将来の経営結

果の指針とはならず、また、本ニュースリリースにおける武田薬品の経営結果及び情報は武田薬品の将来の経営結果を示すものではなく、また、その予測、予想、保証又は見積もりではありません。

#### <医療情報>

本ニュースリリースには、製品に関する情報が含まれておりますが、それらの製品は、すべての国で発売されているものではなく、また国によって異なる商標、効能、用量等で販売されている場合もあります。ここに記載されている情報は、開発品を含むいかなる医療用医薬品を勧誘、宣伝又は広告するものではありません。

以上

(添付)

1. 対象となる代表取締役の氏名及び役職名

氏名	新役職名(予定)	現役職名
ジュリー・キム	代表取締役 社長 CEO*	U.S.ビジネスユニット プレジデント および U.S.カントリーヘッド
クリストフ・ウェバー	退任	代表取締役 社長 CEO

\*2026年6月に開催される第150回定時株主総会および取締役会における選任と任命を条件としております。

2. 新任代表取締役の略歴等

生年月日	略歴	所有 ADS 数*
1970年6月6日	2016年6月 シャイアー社入社 2016年6月 インターナショナル バリュウ デモンストレーション& アクセスヘッド 2018年5月 グローバル ヘマトロジー フランチャイズヘッド 2019年1月 当社入社 2019年1月 プラズマ デライブド セラピーズ ビジネスユニットプレジデント 2022年4月 U.S. ビジネスユニットプレジデントおよび U.S. カントリーヘッド(現任)	95,065 ADS

\*本報告日において当社普通株式は所有していません。

3. 異動・役職変更予定日

2026年6月